



平成 16 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 レッグス  
代表者の役職名 代表取締役社長 内川 淳一郎  
(登録銘柄・コード番号 4286)  
問 い 合 わ せ 先 取締役管理グループリーダー 平賀 一行  
T E L 03-3408-3090

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり、特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 15 年 8 月 7 日の中間決算発表時に公表した平成 15 年 12 月期(平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成 15 年 12 月期単体業績予想数値の修正

(1) 通期の業績予想(平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日)の修正 (単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,671	101	58
今回修正予想(B)	3,588	73	3
増減額(B-A)	83	28	55
増減率(%)((B-A)/A)	2.3	27.7	94.8
(ご参考)前期実績(平成14年12月期)	3,762	225	136

#### (2) 修正の理由

平成 15 年 12 月期における商品企画事業につきましては、顧客企業との直接取引の拡大と広告代理店との取引の維持を戦略の両輪に事業を進めてまいりました。顧客企業との直接取引につきましては、既存顧客との取引拡大および新規顧客の拡大等により、前年同期比で売上高は順調に増加したものの、広告代理店との取引につきましては、大手広告代理店におけるコスト削減要求等により、前年同期比で売上高が減少しております。その結果、単体での売上高はほぼ横ばいで推移したものの、粗利益率が低下し利益を圧迫しております。また、後述のとおり特別損失を計上する予定であります。

これらの理由により、売上高は3,588百万円（前回予想比 2.3%）、経常利益は73百万円（前回予想比 27.7%）、当期純利益は3百万円（前回予想比 94.8%）を予想しております。

（3）特別損失の発生及びその内容

当期において複数の案件で不良品の発生等があり、それらに伴うクレーム対応費用、代替品製作費用等、約57百万円を特別損失として計上する予定であります。

2. 平成15年12月期連結業績予想数値の修正

（1）通期の業績予想（平成15年1月1日～平成15年12月31日）の修正 （単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	4,789	186	105
今回修正予想（B）	4,640	105	20
増減額（B-A）	149	81	85
増減率（%）（（B-A）/A）	3.1	43.5	81.0
（ご参考）前期実績（平成14年12月期）	4,677	253	149

（2）修正の理由

連結子会社の主要業務であるマーケティングサービス事業につきましては、新規顧客開拓が順調に推移し、前年同期比で売上高は増加したものの、既存顧客における発注体制の変更による案件獲得の失敗や新規顧客での低利益率案件の獲得等が、利益を圧迫しております。また、前述のとおり商品企画事業における大手広告代理店への売上高の減少や不良品の発生等にもなう費用を特別損失に計上する予定であることにより、売上高は4,640百万円（前回予想比 3.1%）、経常利益は105百万円（前回予想比 43.5%）、当期純利益は20百万円（前回予想比 81.0%）を予想しております。

以 上